

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、発生の確認と防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容 サトイモ疫病の早期発見と防除の徹底について

2 発生経過

令和 5 年 6 月 26 日、四国中央市においてサトイモ疫病の本年度の初発生が確認された。本病は、平成 27 年に県内での発病が初めて確認され、本年度は最も早い初発となった。

3 当面の防除対策

- (1) 圃場内での発生は周辺箇所から始まることが多いため、こまめに観察し、さといもの中位葉から下位葉の発病有無を確認する。
- (2) 発病茎葉は早急に除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) ランマンフロアブル、ジーファイン水和剤、ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤による定期的な予防散布を行い、発病が認められた圃場では、直ちにダイナモ顆粒水和剤を散布し、その後、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤、アミスター 20 フロアブルを散布する（表、図 1 参照）。なお、さといもの茎葉は水をはじきやすく薬剤が付着しにくいので、展着剤を必ず加用する。
- (4) 台風の通過後に茎葉が損傷した場合にも発病茎葉を圃場外に持ち出し（袋に入れて密閉）、圃場内の菌密度を下げ、直ちに治療剤であるダイナモ顆粒水和剤、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤、アミスター 20 フロアブルを散布する。
- (5) 治療効果のある薬剤を散布した後は、病斑の変化をよく観察する（図 2 参照）。

表 サトイモ疫病に対して使用できる殺菌剤

農薬名	FRAC コード	希釈倍数 (倍)	使用時期	本剤の 使用回数	期待できる 防除効果
ジーファイン水和剤	NC+M1	1,000	収穫前日まで	-	予防効果
ペンコゼブ水和剤	M3	500	収穫7日前まで	2回以内	予防効果
ジマンダイセン水和剤					
ランマンフロアブル	21	2,000	収穫前日まで	2回以内	予防効果
アミスター 20 フロアブル	11	2,000	収穫14日前まで	3回以内	予防とある程度の 治療効果
ダイナモ顆粒水和剤	21+27	2,000	収穫21日前まで	3回以内	予防と治療効果
カンパネラ水和剤	40+M3	1,000	収穫7日前まで	2回以内	予防と治療効果
ベネセット水和剤					

※ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ：FRACコードM3）を含み、また、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ+ベンチアパリカルブイソプロピル：FRACコード40）であるため総使用回数に注意（各成分2回以内）

※適用登録：令和5年6月現在。

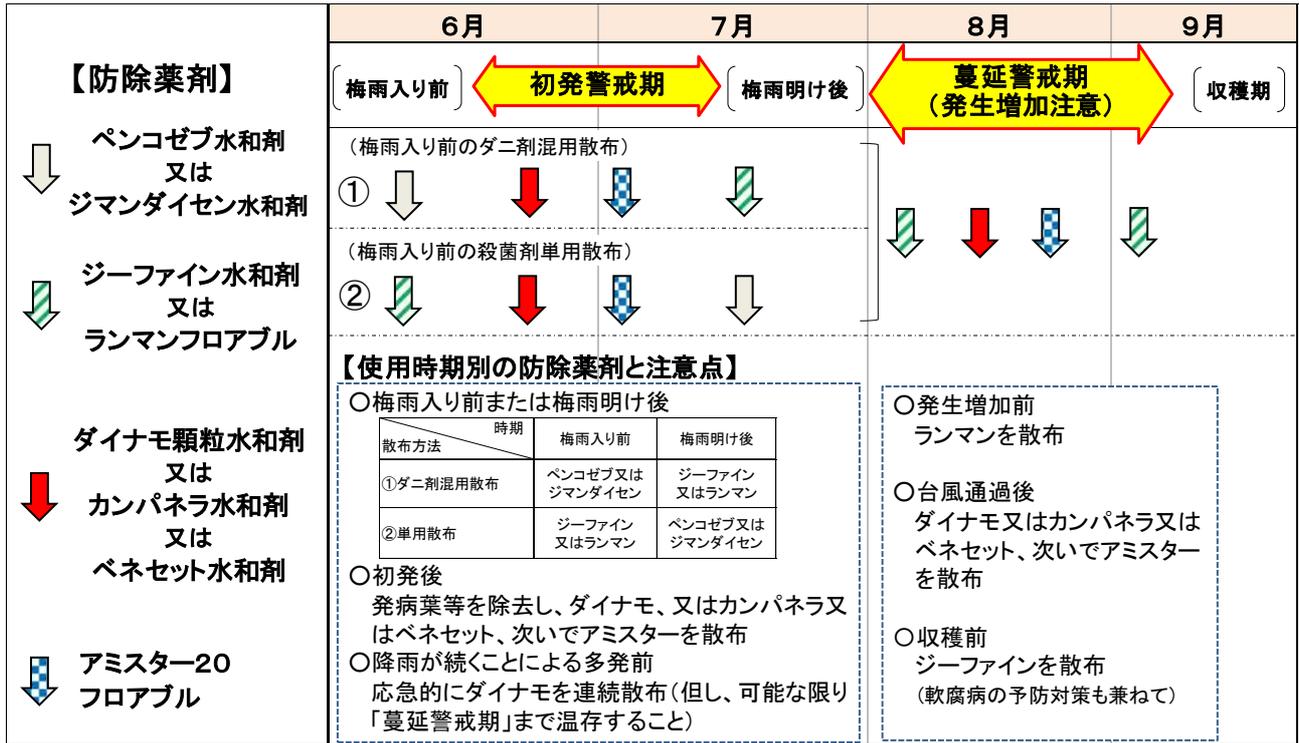


図1 サトイモ疫病の防除体系モデル



図2 治療効果のある薬剤散布後の病斑治療